



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



原発再稼働ストップ

長坂まさし市議と遠藤れい子を囲む市政報告のついで

農業、教育など切実な声次々と



11/23 発言する遠藤れい子

11月23日、中之島文化センターを会場に、市政報告の集いが開催され、長坂まさし市議が市政報告、遠藤れい子があいさつ。参加者から切実な要望が出されました。
米は大打撃、支援がほしい
今年米はほぼ3等米、1俵当たり3000円のマイナスだ。農協も調整し差額は小さくなるかもしれないが、肥料は1.5倍で農業には明日がない。他の市町村では独自支援もある。長岡市も農家に勇気を与え、来年も農業を続けていこうという気持ちになるような支援をしてほしい。
奨学金を軽減するなど教育環境を充実してほしい
70代の方から「自分は新

聞配達をして大学に行った。補助金や給付型奨学金などは本人の努力を低下させるのではないか」の発言。
これに対して、「国立大学の授業料は昔は年間1万5000円だったが、今は55万円もかかる。物価高で生活費も膨らみ、アルバイトしても苦しい。奨学金は必要だが、卒業すると奨学金300万円の返済が始まる。就職しても4割は非正規雇用で、借った奨学金を返せない構図となっている。これが問題ではないか」と意見交換。
《コメント》
「コメはペットボトルの水より安い。時給換算すると1時間10円との調査結果も出ている。」と悲痛な声も出されました。気候危機で毎年災害が繰り返されている今こそ、国土を保全する農業は日本を守ることにつながります。米を守り食糧自給率をあげ、農家を守る事が一番大事です。

また、異常に高い学費の中心で、学びたい人がお金の心配無く教育を受けられる環境を整えることが大事です。

日本共産党の経済再生プラン（紹介その5） ④職場からハラスメントを一掃します

ILOは、労働の世界における暴力とハラスメントを禁止する法律の制定を各国政府に求める、ハラスメントを包括的に禁止する条約を採択しました（2021年6月発効）。日本政府が
この条約を批准し、ハラスメント禁止を法律に明記することを求めます。
——ハラスメントを法律で禁止し、働くすべての人を対象にします。

ガザに救護に入っていた赤十字の看護師・川瀬佐知子さんがNHKニュースで語っていました。
「伝えることが、国際社会を動かすことにつながるのではないか。私たちは一人ひとりが、この歴史的な悲劇の傍観者であってはならないと思う」と、涙をこらえて訴えています。

同じ赤十字の看護師として胸に突き刺さりました。
私の参加する新日本婦人の会長岡支部では、毎週木曜日午後1時30分から蓮湯交差点でスタンディングしています。私も参加して市民の皆さんにアピールしています。あなたも一緒にしませんか。

遠藤れい子の笑顔でファイト

同じ赤十字の看護師として胸に突き刺さり

